

東都農探索マップ

作成：Aグループ8班

⚠️スピード注意！

この細い道路を国道10号線に向かって猛スピードで通り抜ける車が多く、非常に危険！近隣住民の方が看板やコーン、赤色灯などを設置するなど様々な対策をするもなお危険な通行は減っていない。また、事故の危険性に加えて騒音や振動の被害もあるようだ。



📍古墳

一般住宅に県指定都農町古墳が2つあった。もともと県道が通る予定だったが、古墳があったため、古墳を避けるため、曲がった形になっているようだ。都農古墳は前方後円墳が3基と円墳が20基が史跡に指定された。しかし、土地開発により既に11基が指定解除されている。左下の写真は「積石塚」と呼ばれている。



📍無人販売所

地元都農町で作られた野菜や植物の苗などを全品100円で販売していた。この日は玉ねぎと紫陽花の苗を販売していた。



📍レストランの

チキン南蛮やちゃんぽんが名物。海拔が37mあり地震が起きても町民たちが避難できるようになっている。



📍ミヤチク都農工場

都農工場は「ミヤチク」の発祥の地である。外から見ただけだが、大規模な工場であることがわかる。実習中も家畜を乗せたトラックが工場の近くを走る様子を何度も見た。



📍心見川

穏やかな川の流れと透き通る水で町民の憩いの場となっている。川沿いには大規模な太陽光発電がある。



🚌コミュニティバス

都農町では通学路線や生活路線の確保のため、町内を巡回するコミュニティバスが運行している。町立病院・道の駅つの方面の便があり、1人1回あたり200円で利用できる。また、交通量の少ない地域ではフリー乗降が可能である。

コミュニティバスの運行によって高齢者や障がいのある方などの交通弱者の方々の買い物や通院の支援が可能になるが、土日祝日が運休のため、やはり車が手放せない高齢者も多いのではないかと考える。



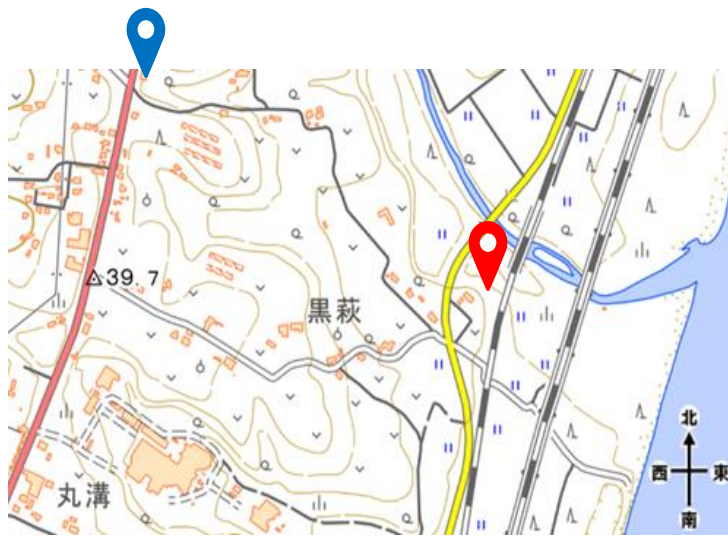
📍公民館

この地区の公民館。昔ながらの一軒家の造りで、防災倉庫が隣接している。大きな広場とブランコもあり、黒萩・丸溝地区のコミュニティ形成において重要な役割を担っていると考えられる。またコミュニティバスの停留所もあるが、こちらも土日祝日の運行がないため、車は手放せそうにない。



📍 並木道

国道と県道をつなげる道の一つ。杉の並木道は国道や県道とは全く異なる一面を見ることが出来る。国道から県道に下っていくと並木道が開け、海を望むきれいな景色が見えてくる。空気がおいしい。



📍 太陽光パネル

県道の近くに太陽光パネルが多く設置されていた。自治体が管理しているパネルが大半だったが、一部民家の屋根に設置されており、再生可能エネルギーの利用が積極的に行われていることが分かった。



感想

今回の実習で初めて都農町を訪れたメンバーもいたが、自然豊かでのどかでとても良い町であった。ふるさと納税を活発に行っていたり、移住者に向けての補助金制度が整っていたりと、町全体で地域振興を行っていて魅力のあふれる町だった。実習中に会った方々は、親切な方ばかりで、私たちの質問に快く回答してくださった。質問の回答に加えて、住民の方々の想いなど幅広い意見を聞くことができた。この都農町民の皆さんも都農町を語るうえでは欠かせないと思う。

最近、都農町に移住する方も多いらしいが、住むには少し不便だと思った。それは都農町は、商業施設が少なく、買い物をするには、かなり歩かなくてはならないからだ。都農町は、お年寄りも多いため、買い物に行くのも大変なことである。都農町内を走るコミュニティバスがあるものの土日は運行しておらず、土日に買い物は困難であると思う。

また、ミヤチク都農工場ができたことによる弊害も起こっている。経済面は発展したものの、猛スピードで走る家畜を乗せたトラックや、仕事帰りの工場の従業員がスピードを出して県道を通り、騒音や臭い問題に加えて事故の可能性が上がって危険だという地域住民の方の声もあった。町の発展によって、弊害が起こりうる可能性があるということも学ぶことができた。今回の実習で学んだことを活かしていきたい。